



お知らせ

Press information

スマート 新型smartのテレビCM「fortwo forfour」篇 10月29日よりオンエア開始

2015年10月29日

- ・相葉雅紀氏を起用して新型smartの魅力を表現したテレビCM
- ・駐車場誘導員に扮し、キビキビと走り回る「smart forfour」「smart fortwo」を前後左右に華麗に誘導する演出

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:上野金太郎、本社:東京都港区)は、メルセデス生まれのシティ・コンパクト「smart fortwo」「smart forfour」の広告活動として、相葉雅紀氏を起用したテレビCM「fortwo forfour」篇を制作し、本日より全国でオンエアを開始します。

スマートは、最小限のボディサイズに最大限の利便性、快適性、安全性、環境適合性を凝縮したマイクロコンパクトカーとして1998年にデビューし、本日までに全世界累計販売台数150万台以上を記録、日本でも累計販売台数は3万台を超え、多くのファンの方に愛されています。

新型smartは、待望の4人乗り仕様の「smart forfour」をラインアップに加えることで、お客様の選択の幅を広げます。一方、2人乗り仕様の「smart fortwo」はファンの方のご期待に応えるため、ユニークなsmartの個性をさらに強めた限定モデルとして定期的に展開していきます。

今回、相葉雅紀氏が出演する新型smartのテレビCM「fortwo forfour」篇は、軽快なロックナンバーに乗せて踊るような手捌きや身のこなしにより、次々に登場する「smart fortwo」と「smart forfour」を、前後左右へ華麗に誘導します。「smart fortwo」と「smart forfour」は、その指示に従い、その特長であるクラストップレベルの最小回転半径を活かし、小回りを効かせてキビキビと動き回る演出です。

本テレビCMは、新型smartウェブサイトでも公開いたします。(URL:www.smart-j.com)

【テレビCMストーリー】

別紙

広大な敷地に、次々と現れるメルセデス・ベンツのシティ・コンパクト「smart fortwo」と「smart forfour」。ノリノリのロックナンバーとともに「オーライ！オーライ！」と手招きしながら現れたのは相葉雅紀さん。どうやらこの大量の「smart fortwo」と「smart forfour」を一人で誘導しようとしているようです。音楽に合わせて踊るような軽やかなステップと身のこなしで右に左に、前へ後ろへと指示を出す相葉さん。その巧みなクルマ捌きに、小回りの効いたキビキビとした走りで応える「smart fortwo」と「smart forfour」。まるで相葉さんとダンスを踊っているかのようなごきげんな走りを見せる「smart fortwo」と「smart forfour」でした。

【撮影レポート】

■秋晴れの空の下、新型smartが走る！

「すごい天気いい！」が10月某日、撮影が行われた東京近郊のオープンスタジオに入られた相葉雅紀さんの第一声。この言葉にスタッフ達の顔もほころびました。というのも、テレビCM「fortwo forfour」篇は、相葉さんの巧みな誘導によって、何台もの「smart fortwo」と「smart forfour」をきれいに捌いて行くという内容。実際に「smart fortwo」と「smart forfour」を走らせる必要があるため、撮影は屋外のオープンスタジオで予定されていました。しかし多忙を極める相葉さんのスケジュールを押さえられたのはこの日1日だけ。もちろん雨天時に備えて屋内での撮影プランも検討されていましたが、できれば青空の下で伸び伸びと気持ちよく相葉さんには演技をしてもらいたいと、スタッフ達は屋外での撮影を想定して準備を進めてきました。それでも台風シーズンでもあるこの時季、天気だけはどちらに転ぶか分からないため、1週間前からてるてる坊主をぶら下げていたスタッフもいました。そんな祈りが通じたのか、撮影当日は朝からこの上ない秋晴れ。撮影が開始された昼過ぎには気温も25℃に達し汗ばむくらいの陽気となりました。完成したTVCMから伝わってくる、開放感溢れるわくわくするような雰囲気は、屋内での撮影ではきっと表現できなかったはずです。

■「カッコよく誘導してほしい・・・」とは？

テレビCM「fortwo forfour」篇の撮影にあたり、相葉さんが監督から受けた指示は、メルセデス・ベンツのsmartを“カッコよく誘導”してほしい、というもの。これまでに、カッコよく踊ってほしい、カッコよく歌ってほしい、カッコよくセリフを言ってほしいというような指示はあったものの、カッコよく車を誘導してほしいとはどういうことなのか……。監督に詳しく聞いてみると、海外の映画やニュース映像で見かける、カッコいい身振り手振りで誘導する駐車場の誘導員や、交通整理をする警察官のイメージとのこと。「あー、あれねっ！」と監督の意を察した相葉さんが、振付師とともに試行錯誤の上完成させたのが、相葉さん流“カッコいいsmartの誘導”法。本番直前まで、腕の降り出し方、方向の指し示し方、足を曲げる角度などを入念にチェックしながら、相葉さん流のカッコよさを追求していきます。そして撮影本番。屋外のオープンスタジオにTVCM楽曲が流れ、相葉さんもノリノリの音楽に合わせて軽やかなステップと身のこなしで右に左に、前へ後ろへと誘導指示を出します。その様子は巨大な駐車場がまるでライブステージになったかのよう。キレのあるダンスの中に、時折入るチャーミングなポージングも相葉さんならではのカッコよさ。smartを“カッコよく誘導”してほしいという監督からのリクエストを遥かに凌ぐ“カッコよすぎる誘導”員の誕生に、スタッフからも拍手が沸き起こりました。

■相葉さん、撮影の合間に「smart four」でドライブ！

別紙

撮影の行われたオープンスタジオには、相葉さんと共演(!?)するために何台ものメルセデス・ベンツのsmartが持ち込まれています。その中の1台、4人乗りの「smart four」に撮影の合間をぬって相葉さんに試乗していただくことになりました。

試乗に先立って、相葉さんから担当者へ「smart four」の特徴に関する質問が。トランクの大きさや室内の広さ、豊富なボディカラーについてや取り回ししやすいコンパクトボディについてなどの説明に聞き入る相葉さんでしたが、ふと「普通に車屋さんに買いにきた会話になっちゃった！」と我に返ります。いよいよ試乗。広い室内、シートの座り心地の良さに関心しながらエンジンをスタート。「じゃあ！メルセデス・ベンツのsmartで行ってきます！」と意気揚々と出発！・・・と思いきや、くると左回転で一回り。スタート地点と同じ場所に戻ってきた相葉さんは「ただいま！」のご挨拶・・・。「すごい、こんなに回る？ここで！すごいよ、このクルマ！」と感心しきり。そう、相葉さんは「smart four」のクラスストップレベルを誇る最小回転半径4.1mを体感したかったのです。短時間ながら「smart four」で運転する楽しさを堪能した相葉さんは、「楽しかった！」と言って撮影に戻って行きました。